

## テーマ

### 吃音のある学齢児の支援～「発達性吃音の小児期疫学調査と回復要因の研究」の最終報告

日本コミュニケーション障害学会吃音および流暢性障害研究分科会では、毎年、学術講演会時にワークショップを開催し、吃音・流暢性障害に関する研究・臨床に関する情報提供や意見交換を行なっています。近年は、新型コロナウイルス感染症の蔓延により対面でのワークショップの開催が困難なため、今年も昨年同様、オンラインでのワークショップを企画しました。

ワークショップのテーマは、「吃音のある学齢児の支援」です。昨年に引き続き、2019～2021年度日本医療研究開発機構（AMED）の研究助成を得て行われた「発達性吃音の小児期疫学調査と回復要因の研究」の「学齢期の評価・治療法開発」に参画している先生方に、同研究の最終報告をしていただきます。そして、吃音のある学齢期の子どもに対する支援の目的や方法について、ご参加の皆様とディスカッションできればと考えています。

## 実施方法

### オンライン

- (1) ビデオ会議システム（Zoom） 2022年12月10日（土） 13:00～15:00
- (2) オンデマンド配信 2022年12月15日（木）～2023年1月10日（火）

## プログラム（司会 国立障害者リハビリテーションセンター 酒井奈緒美）

### 学齢児の吃音指導—改善のみられた事例における評価と支援の実態—（筑波大学 宮本昌子）

吃音指導で改善のみられた事例に用いられた評価や支援介入の方法について質問紙調査した結果を報告します。日々の指導に有益な情報をお伝えしたいと考えています。

### 学齢期吃音における介入方法の無作為化比較試験（国立障害者リハビリテーションセンター 角田航平）

昨年度の本分科会において、吃音のある小学生を対象に従来行われてきた直接的発話訓練と、認知行動療法の要素を取り入れたアプローチの無作為化比較試験の概要を紹介しました。その後、本試験の最終評価が終了しましたので、その結果について報告します。

### 学級での吃音支援に関する研究（金沢大学 小林宏明）

吃音のある学齢児の在籍学級でのより良い支援を目指して出版された「イラストでわかる子どもの吃音サポートガイド」を用いた支援の実証研究の結果について報告します。研究結果を踏まえた、「サポートガイド」を用いた支援を行う際の要点や留意点をお伝えしたいと思います。

## 質疑・応答/閉会の挨拶

**対象** 吃音のある学齢児の指導・支援に従事されている先生（ことばの教室、言語聴覚士など）

\* 日本コミュニケーション障害学会の会員以外の方も参加可能です

**参加費** 無料

**参加申し込み**

本ワークショップは、参加費は無料ですが、ご参加いただくには参加申込が必要です。

参加申込締切 2022年12月5日（月）

参加申込は、以下のURLにあるお申し込みフォームからお願いします。

（QRコードからアクセスできます）

<https://forms.gle/GBifpahQp4ohcvZz6>



## お問い合わせ先

日本コミュニケーション障害学会吃音および流暢性障害研究分科会代表

酒井奈緒美（国立障害者リハビリテーションセンター研究所）

sakai-naomi@rehab.go.jp

〒359-8555 埼玉県所沢市並木4-1 国立障害者リハビリテーションセンター研究所